

近現代史(11)「19世紀イタリアの統一 ～リソルジメント～」

0. 19世紀イタリアの状況



○[① _____]

・イタリアを統一することになる国。1720年、サヴォイア家がサルデーニャ島を領有して成立した北イタリアの小王国。都はピエモンテ地方のトリノ。

○VS [② _____]

・ナポレオン戦争後のウィーン会議で**ロンバルディア**と**ヴェネツィア**を獲得。

○VS [③ _____]

・ナポレオン戦争後、正統主義により復活したブルボン家がナポリ王国とシチリア王国を統合。

○VS [④ _____]

・ナポレオン戦争後のウィーン会議で復活。フランスの守備隊に守られている。

1. 自由主義運動

○[⑤ _____]

・炭焼党。19世紀初頭に南イタリアで結成された秘密結社。イタリアの独立と統一、自由主義的改革を目的とした。

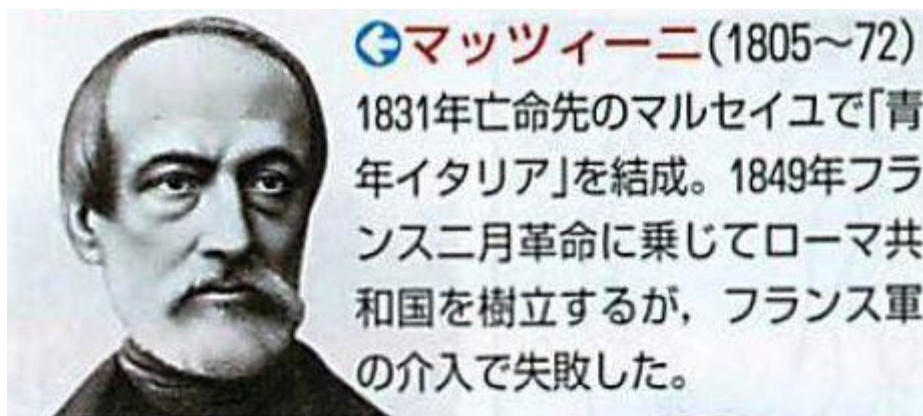
・1820年[⑥ _____]蜂起、1821年[⑦ _____]蜂起 → 失敗

・[⑧ _____]年 七月革命の影響で蜂起 → 失敗、組織解体

○[⑨ _____]

・1831年、[⑩ _____]が亡命先マルセイユで結成した政治結社。カルボナリの活動を継ぎ、共和主義に基づくイタリアの統一を目指した。

・1849年、[⑪ _____]樹立。二月革命の波及を恐れた教皇ピウス9世がローマを脱出したので、マッツィーニらの「青年イタリア」が共和国を建設した。だがフランス軍の干渉で倒れた。



2.サルデーニャ王国による統一運動

【12 _____】(位 1831~1849)

○1848年 二月革命の影響で【13 _____】に宣戦するも敗北して退位



【14 _____】(位 1849~61) → イタリア国王(在位 1861~78)

○1849年即位



○1852年 サルデーニャ首相に【15 _____】が就任。



○1855年 【16 _____】参戦
・英仏土側に立って参戦。国際的地位を高めてナポレオン3世との好感度を上げた。



○1858年 【17 _____】
・ナポレオン3世とカヴールの間で交わされた。サルデーニャが【18 _____】を割譲する代わりに、フランスはサルデーニャの対奥戦争を支援するという約束。



○1859年 【19 _____】
・イタリア統一をめぐるサルデーニャ・フランスの対奥戦争。サルデーニャが連戦連勝したためナポレオン3世は自国の南に強大な統一国家が出来上がることを怖れて、ヴィラフランカの講和を結んで撤兵した。
・サルデーニャは【20 _____】を獲得するにとどまった。



○1860年 【21 _____】併合
・トスカナなどの諸邦がサルデーニャへの合併を希望。カヴールはナポレオン3世と交渉して、ロンビエーレ密約でイタリア統一戦争の協力の代償としていたサヴォイアとニースを割譲することで、合意を取り付けた。



○同年 【22 _____】征服
・青年イタリアの【23 _____】、【24 _____】を率いて両シチリア王国占領



○1861年 【25 _____】成立(除; ヴェネツィア・教皇領) 首都: トリノ⇒フィレンツェ⇒ローマ
・ガリヴァルディが占領地をサルデーニャ王国に献上。サルデーニャ王ヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世がイタリア王国の初代国王となって成立した。



○1866年 【26 _____】併合
・【27 _____】にプロイセン側で参戦。
⇒プラハ条約でオーストリア領ヴェネツィアを回収した。



○1870年 【28 _____】占領
・【29 _____】でフランスが敗北して撤兵したため、ローマに入城。
⇒ローマ教皇はこれに反発して「【30 _____】」と称して対立を続ける。
Cf.1929年ムッソリーニが【31 _____】で和解 ⇒ ヴァチカン市国成立



【未回収のイタリア】

○【32 _____】…オーストリア西部の山岳地帯。14世紀以来ハプスブルク家領だった。第一次世界大戦後にイタリア領。

○【33 _____】…アドリア海北東岸の港市。14世紀以来オーストリア領だったが住民の4分の3はイタリア人。第一次世界大戦後にイタリア領。

